

地区	議席 番号	氏名	区	開催日		1回目	2回目	具体的な手段・解決策 (2回目)
				第1回	第2回	地域の農業を支える方針（ランキング順）	テーマ	
御殿場 ①	1 13 14	勝 又 忠 好 鎌 野 博 之 山 崎 嘉 幸	東山、鮎沢、東田中、 二の岡、新橋	10/23(月)	11/20(月)	特産品、栽培・販売方法の工夫 スマート農業、農機具のリース・共同化 モテる農業 基盤整備・区画整理 観光農業 担い手確保 楽しい農業、イメージ向上 補助金	特産物の開発	新品種の開発（コシヒカリ以外の地域にあった品種の開発） 加工品の開発（地元産の農産物の6次産業化） 特産品の開発（地元資源（水等）を活用した製品の開発）
							農業の魅力向上	楽な農業（スマート農業、女性が取り組みやすい） 儲ける（特産品を作り、喜ばれる農産物を作る） 農家と消費者の距離を短くし、ともに収穫の喜びを共にする。（オーナー制度、観光農業）
							観光農業	体験農業（非日常の提供） 観光になる特産物（御殿場でできる農産物創出） 地元企業とのコラボ（おもてなしを求め、利益の追求）
							新たな担い手の確保と育成	地元の未活用人材の活用・発掘（多様な人員の導入） 外部からの担い手導入（首都圏等からの農業従事希望者の募集） 農業教育の充実（農業体験、栽培講習会の実施）
							儲かる農業への転換	ほ場整備、スマート農業（土壌改良、機械化、共同利用） 担い手の育成（法人化、農業ボランティアグループ化） 新たな特産品での6次産業化（加工用米栽培→工場での米粉への加工品化、高収益作物のブランド化）
御殿場 ②	9 17	伊 倉 ふさ子 田 代 速 夫	仁杉、北久原	10/25(水)	11/21(火)	働き方改革（機械化） 所得の向上（6次産業） 農業教育、担い手育成 特産品、ブランド化 集積	農業所得の向上	スマート農業（機械、コスト、労力、助成金） 米+特産物（地場に適した作物開発） PRの拡充（販路、システム、SNS）
							農業教育、担い手育成	教育（体験する…酪農、水稲づくり、畑作 農業塾…小中高生向け教育、食育） 魅力の発信（PR…パンフレットやチラシによる広報活動 新しい作物づくり…種苗メーカーの協力） 担い手育成（法人化、栽培指導者の育成）
							特産物の開発	新しい特産品の開発（地域にあった資源や米の新しい品種を選定していく） 地域の農産物を使った加工品の開発（6次産業化を進める。付加価値をつける） 新しく開発した特産品の強化（良い品質のものを開発し、それをうまく発信し、販路も広げ所得向上、定着を目指す）
御殿場 ③	10 15 16	勝 亦 里 沙 芹 沢 重 徳 勝 又 高	萩原、二枚橋、西田 中、栢ノ木	10/30(月)	11/22(水)	もうかる農業 農機具の共同利用 法人化 地域や家族で情報共有 食育教育 イメージアップ 農地の整理	儲かる農業への転換	規模の拡大（農地の集積、大規模化→法人化） 6次産業の確立（人を呼び込む特産物の創出し、6次産業につなげる） 販路の確保（目玉商品で客を選び、販路の多様性、県外からのインバウンド、ネット利用）
							共同化	人の共同化（法人化（福利厚生）、農作業の共同化（ボランティア）） 機械の共同化（大型機械、スマート農業、行政の支援） 土地の共同化（農地の集積化）
							農業の魅力向上	6次産業化（特産品の開発） SNS等の活用（都心でのイベント、アンテナショップ、ユーチューブの活用） 農地の有効活用（緑地帯の活用）
御殿場 ④	11 12	小宮山 光 文 小宮山 勉	御殿場、深沢	10/26(木)	11/28(火)	助け合い（アルバイト、共同作業） 後継者の育成（ボランティア、少年団、学校行事化、兼業農家） 高収益化、ブランド化 法人化、農機具リース 農地保全（観光農業、省力化、ヤギを飼う） 草刈りをイベントにする 補助金 イメージアップ	担い手への補助、支援	補助金・助成金（農業機械購入助成、耕作放棄地の耕作助成） 農作業の協力・助け合い（共同作業、農業機械シェア） 担い手への教育（新規就農者の育成）
							新たな担い手の確保と育成	人材の確保（農業の共同作業、機械共同利用） 教育（農業指導者の確保、農業塾） 魅力発信（農産物のオーナー制度導入、農業体験）
							儲かる農業への転換	ブランド化（PR、商品開発、6次産業） 効率化（集積、大規模、共同作業） お金（税金、販売助成、セミナー）
							農業の魅力向上	心身ともに健康になれる（達成感、向上） 生まれた地域を守る（環境保全、地域コミュニティ、食料自給率アップ） 魅力の発信（ネットやSNSを利用する。都心でのアンテナショップ）

地区	議席 番号	氏名	区	開催日		1回目	2回目	具体的な手段・解決策 (2回目)
				第1回	第2回	地域の農業を支える方針（ランキング順）	テーマ	
富士岡 ①	2 18 19	杉山道洋 内田元和 鈴木政信	中山、二子、龜、諸久保、沼田、萩蕪、中清水、駒門	10/18(水)	11/15(水)	後継者発掘・育成（広報） 農業所得の向上 農地以外への活用 移住者募集 耕作放棄地活用（株式会社） 仲間づくり・法人化 観光農園 新技術導入（ドローン、省エネ） 機械貸し出し 地域づくり（高収益化、後継者育成）	後継者の発掘・育成	食べていける農業（経済的支援、スタートアップの保証） かっこよくて楽しい農業（ファッションブルな農業、若年層の農業体験、魅力ある農業） 消費者とのコラボ（飲食店とのコラボ、消費者からの要望に応える農業）
							農業所得の向上	ブランド化による高収益（付加価値をつける） 生産性の向上（大規模化とコストカット） 販路の拡大（海外を含む）
							耕作放棄地活用	体験観光農園（農業テーマパーク、体験農園の整備） ほ場整備（農地の集積、農業のしやすい環境づくり） 手間のかからない農作物の研究（景観作物の栽培、放牧による利用、転作物）
							新技術の導入	スマート農業の導入（ドローン・無人草刈機の導入（省力化）） 近未来の農業（新品種・新技術、お金のかからない農業） 農業情報の共有（新技術の情報共有システムの構築）
							体験観光農業	体験テーマの充実化（種まきから食べるところまで、機械の運転、火起こし、糶すり） ネットの活用、年間オーナーで生育観察（若者が集う） 運営、募集（民家へ泊める、企業とのコラボ、ネットで募集、移住へ発展させる、御殿場を知ってもらう）
							農業移住者の募集	農業環境を整える（農地と住居の確保、農機レンタル） 御殿場の魅力を伝える（告知→体験→移住） 人材確保の手段（農業指導者の確保、流出させない、呼び込む）
富士岡 ②	8 20 21	坂本登志雄 土屋直人 小林武治	大坂、町屋、神山、高内、尾尻	10/19(木)	11/16(木)	特産品 人集め 観光農園 販売所の増設 機械化 もうかる農業 人に頼らない農業 担い手の育成 基盤整備 補助金	地域特産物の開発	サスティナブル野菜（老若男女だれでもできる野菜、米、そば、白ネギ、トウモロコシ、サトイモ、ハーブ） フルーツ（イチゴ、シャインマスカット等、人気のあるもの、あまり作っていないもの） 加工品（B品等を利用する）
							農業所得の向上	販路の確保（規格外品の加工場、ネット） コスト削減（機械の共有、担い手に農地を集約） 情報収集（アイデアを集める（若い人から、もうかる情報））
							新たな担い手の確保と育成	農地の確保（収益を得られる規模、法律改正） もうかる農業モデル・人材育成（教育の強化、体制づくり） 補助金（転作物、水田営農）
							体験観光農業	機械の操作（夢・あこがれ・ロマンをかなえる） 誘致→中身→メニュー（魅力ある農業体験を具体化） レンタル農地（オンライン成長記録付き、収穫だけでなく成長も見守る）
原里	3 7 22 23 24 25	加藤由富 長田守正 大庭省一 勝亦康雄 勝又保明 渡辺義文	保土沢、川島田、森之腰、杉名沢、神場、板妻、永塚、北畑、大沢	10/31(火)	11/27(月)	圃場整備、区画整備 特産品、ブランド化、新品種 法人化、集団化 担い手確保（育成、学びの場等） 観光農業 楽しい農業、テーマパーク 遊休農地の活用 スマート農業 米袋の軽量化	耕畜の連携	耕畜の副産物の利用 耕畜のブランド化 補助金を活用した連携の強化
							儲かる農業（特産品、ブランド化）	加工品の開発 情報発信 ニーズに合った作物や品種
							新たな経営（法人化、集団化）	地区の人・近い農地の人とグループ化 教育・体験を含めた経営 出資等含めた新しい経営
							担い手育成や農業教育	子どもへの教育（体験） 外部（労働力等）の確保 農業の自立（農業のみで暮らしていけるような）
							観光農業	観光体験農園 御殿場のブランドを広める 観光イベント
							農業生活が楽しくなる（テーマパーク！？）	マイペースの生活リズム 儲かる農業を目指す 共同化へのコミュニティ作り
							遊休農地の活用	観光（体験）農園 貸し出し 農地転用
							農業の効率化、スマート農業の推進	行政の支援 スマート農業の推進 協生農法の確立

地区	議席 番号	氏名	区	開催日		1回目 地域の農業を支える方針（ランキング順）	2回目 テーマ	具体的な手段・解決策 (2回目)
				第1回	第2回			
玉穂	4 26 27	立道 和策 勝又 光明 杉山 光利	立下、中部、山権、八丁地、原、道上、蕪木沢、飯塚、川柳	10/12(木)	11/6(月)	農業教育 農業テーマパーク 販売強化 観光農業 楽に楽しく 耕作放棄地活用 新たな人材 共同化（法人・集落） 土地の整備等	農業教育（食育、作業ノウハウ等）	実体験（・中学生の職業体験に農業も取り入れる。・定年退職者向けの農業学校。） 教育（・育てる楽しさ、収穫の喜びを伝える。） 食育（・地場産品を作ったお弁当作り。・バーベキュー大会的なイベント。）
							儲かる農業への転換	コストダウン（・共同作業、機械の共有。・AIなど先進機器の取り入れ。・省力化できる作物の選定。） 新しい販路（・ふるさと納税の活用。・六次産業化。・地区外へのPR。・観光農園。） ブランド化（健康という付加価値）（・有機栽培。・作物や地域のストーリー化。・漢方を作る（健康になる作物）。・特産品の開発。）
							体験観光農業	農業テーマパークをつくる（・3星レストラン誘致。・キャンプ施設等。） 収穫体験をする（・きのこ。・水かけ菜。・田んぼ。・どじょうすくい。） イベントの開催（・大根足コンテスト。・アイドルグループ。・田んぼで婚活。）
							耕作放棄地活用	貸し出し（・学校。・家庭菜園。・委託。・無料。） 整備、整地 活用（・花を植える。・農外利用。・儲かる作物。）
							地域農業を支える多様な経営体の確保・育成	農業教育（・リーダー育成。） 特産物（・作物ごとに組織作り。） 体制作り（・経営体として経営できるシステム作り。）
							共同化	核組織（・農業法人。・集落営農。） 作業従事者（・他業種や学生などをマッチング。） 大型機械を導入する為のほ場整備（・大型機械の共同所有、リース。・農地の見直し。）
印野	5 28	岩瀬 茂 石田 澄夫	時之栖、印野、小木原	10/16(月)	11/13(月)	農機具シェア 特産品 観光農園（景観） もうかる農業 販路の確保 集約 樹林化 農業団体（若手移住者） 農業教育 スマート農業 大規模化 楽しい農業	地域特産物（品）のアイデア	資源（水）原料（酒米）加工品（日本酒）居酒屋（販売） 6次以上産業 山菜・ジビエレストラン（食堂） くだもの栽培振興
							農業で地域を活性化させる楽しいアイデア	収穫体験・イベントの開催（各種農作物の収穫体験、作業着ユニフォームを作成 企業とタイアップ（種苗メーカーの誘致、楽天農業とタイアップし全国会員を呼ぶ） 広報（品目ごと情報交換をして広報活動、SNS、ホームページ）
							儲かる農業への取組みのアイデア	組織作りと効率的な経営（行政・JA等との連携） 高冷地に合った具体的な作物（キウイフルーツ、ブドウ、スイカ、たけのこ等） 販路の確保（低マージン化）
							担い手が印野に来たくするようなアイデア	みんなが楽しめる収穫祭の実施（春夏秋冬実施する 農業を効率化、利益追求（機械化、ICT化） 性格基盤の拡充（移住サポート体制）
高根	6 29 30 31	勝又 政昭 滝口 恵治 杉山 裕 林 良三	上小林、柴怒田、水土野、塚原、山之尻、六日市場、古沢、増田、中丸、大塚、清後	10/17(火)	11/9(木)	高収益化（ブランド、有機、特産品） 担い手の補助（機械、肥料農業、兼業農家、長生きサポート） 法人化 楽に農業（後継者育成、仲間づくり） 女性・子どもにも魅力的な農業 全産業で考えるシステムづくり スマート農業 Dash村のような体験、観光、インターンシップ 兼業化の促進	儲かる農業への転換	チーム高根を作る（高根ブランドを育てるシステム作り・主役は農家、農家以外は応援団としてチームでブランディング ブランディング&マーケティング 地域に合った儲かる物を見つける、作る
							地域農業を支える多様な経営体の確保・育成	区内に品目別生産部会を作る 人材育成・指導員確保（中心になる人材の確保・地域営農集団の中心人物等） 他産業からの参入
							担い手へ農地の集積・集約をする	人（担い手、新規就農者）、（担い手を増やす、担い手への応援、スタッフ組織化） 金（担い手、離農就農者、貸手⇒助成金） 土地（貸手、借り手）担い手、（情報、結び付き、水路振分け、借地料均一化、農地交換のシステム
							若手や女子、子どもの活躍できる「魅力ある農業」	魅力ある農業体験（栽培、収穫、販売、宿泊） 商品開発・6次産業化（学生・女性のアイデアを活かした商品開発 AIを活用したスマート農業（全自動、技術の平等、人材育成）
							担い手への補助	金（機械、肥料、機械農機具貸出（共有）、水路整備、就農補助金 農地集積と労働力（退職者、OB、シルバー人材センターとの融合） 販売・加工（6次産業化とその販売ルート、廃棄品の活用）
							兼業農家を守る取組み	家族・地域の協力（共同作業による管理、JAによる担い手の指導） 農業所得の安定・向上（特産品、売れる作物づくり、機械や肥料等の購入補助等） 機械の共同利用・レンタル
							体験観光農業	体験農業（グリーンツーリズムから移住） 宿泊施設（農家民宿、レストラン） ふれあい（農作業以外の体験）